

■横村正直 内務官僚。維新で衰退した京都を産業育成で救った豪腕知事。

うえむらまさなお

高島砲術・・・1834＝ 長門国美祢郡大田村で、長州藩籍郷士格羽仁正純の次男に生まれる。母は同藩福岡氏長女常子。

大塩平八郎乱1837＝ 3歳：

勲進帳初演・1840＝ 6歳：正直を名乗る

順天堂始・・・1843＝ 9歳：

天保改革終・1844＝10歳：剣法新陰流馬来勝平に入門。

阿部正弘首座1845＝11歳：抜刀術片山流北山弁蔵に入門。

・・・・・・1848＝14歳：藩主の文学試験で表彰され硯を賜る。

万次郎帰国・1852＝18歳：

ペリー来航・1853＝19歳：

開国開港・・・1854＝20歳：藩鉄砲隊{神器庫}に加わり森重政之進に砲術入門。長州藩士榎村満久の養子となる。後にその娘と結婚。

安政大地震・1855＝21歳：相模国御備場警備に出る。

松下村塾・・・1856＝22歳：藩裏判所加勢となる。

蕃書調所・・・1857＝23歳：練兵場世話掛として、長崎へ出張。

五ヶ国条約・1858＝24歳：嫡子雇で、分限帳役となる。長女が誕生。

安政の大獄・1859＝25歳：藩分限役、

桜田門外変・1860＝26歳：再び、小銃代金護送のため、長崎出張。

遣欧使節・・・1861＝27歳：**当分密用間次役(スパイ)となる。次第に、その能力を木戸孝允から評価され、支援を受けることになる。**

生麦事件・・・1862＝28歳：地方密用間次役となる。

8月18日政変 1863＝29歳：公務者筆者役となる。

禁門の変・・・1864＝30歳：密用間次役として、諸隊を巡視。一時、鐘秀隊に。藩世子に従い東上中、讃岐多度津で、焼け野原となった京都の状況を知り、全員長州へひき返す。追討使応接取調御用掛となる。

薩摩藩士密航1865＝31歳：兄が死去。養父が死去、家督を相続。長男が誕生。一代遠近附に昇格し、当役中筆者兼密用間次役。

薩長同盟・・・1866＝32歳：赤根武人逮捕に功あり。国政方内用兼務。奇兵隊脱兵を処分。

大政奉還・・・1867＝33歳：藩右筆役となる。

明治維新・・・1868＝34歳：**維新で府となるも東京遷都に荒廃する京都に初めて入る。御雇議政官吏官試補、徴士議政官吏官となる。**

戊辰戦争終・・・1869＝35歳：全国初となる上京第27番組小学校が開校。***京都府権弁事となる。大村暗殺団の処刑を一時中止し、**

初の日刊新聞1870＝36歳：次女が誕生。**太政官に召喚され、謹慎処分。叙位(正六位)返上嘆願書を提出。東上し、太政大臣に「京都府施政大綱」を提出。「被差別民解放促進」を太政官に建議。山本覚馬が府顧問になり、明石博高が出仕。**

府置置県・・・1871＝37歳：**勲業場を開設。民部省に「抜擢解放論」を提出。「鉄道建設に協力せよ」の府令。京都府大参事となる。**

学問のすすめ1872＝38歳：***民間請願を国が引き取り京阪之間鉄道建築御用掛となる。京都滞在中の福沢諭吉を訪問。日本初となる第一回京都博覧会を開催し、大成功、天皇も案内。自ら企画して、都おどりの始まりにもなり、以後、毎年開催。文明の敵と、孟蘭盆行事を禁止。新京極通を開通させ、急速に繁華街化。**

明治6年政変 1873＝39歳：この年、三条東洞院に集書院開館。**印刷所換文堂設立。「中学開業祝辞」刊行。小野組事件で拘留され、山本覚馬が上京して釈放運動し、岩倉具視の特命で釈放され、最終判決で贖罪金30円。**

佐賀の乱・・・1874＝40歳：著書「小学女児手引草」刊行。鉄道御用掛被免。

初の民間工場1875＝41歳：**新島襄に初めて会い、博物館用掛に。京都府権知事となる。**

三つの内乱・1876＝42歳：実父が死去。**この間、産業諸施設を次々と実現させて、京都を蘇生させ、**

西南戦争・・・1877＝43歳：島津源蔵が水素入り軽気球を揚げる。木戸孝允が死去。**皇后から盃・皇太后から織物を賜る。京都府知事となる。入浴中の天皇を集註院などに案内。天橋義塾の小室信介らを拘留。著書「私用語」刊行。**

沖縄県編入・1879＝45歳：妻が死去。**天橋義塾幹部を説得し、愛国社大会への参加を中止させる。府下中郡の分村問題で地元から訴えられるが、裁判所は却下。フランスから贈られた功労記章の佩用を許される。{京都商事迅報}を発刊させ、府の広報紙として利用。**

・・・・・・1880＝46歳：**地方官会議幹事となる。「府達11号」で府会と対立。コレラ予防に寄与したとして銀盃。{我楽多珍報}を告**

訴し、翌年勝訴。上・下京連合区会第一回総会で産業基金金をめぐり議員と激論。

明治14年政変1881＝47歳：***府知事を辞め、元老院議員となる。**

新体詩抄・・・1882＝48歳：高等法院予備裁判官となる。勲三等旭日中綬章。

秩父事件・・・1884＝50歳：地方巡察使として京都府庁を訪問。生地の山口県大田小学校に10円寄付し、木盃を受領。

国民之友始・1887＝53歳：華族に列せられ、男爵となる。勲二等旭日重光章を賜る。

初の対等条約1888＝54歳：法律取調委員となる。

帝国憲法発布1889＝55歳：

帝国議会始・1890＝56歳：この年、琵琶湖疏水竣工式に天皇皇后臨席。行政裁判所長官に任じられる。男爵互選貴族院議員に当選。

大津事件・・・1891＝57歳：勲一等瑞宝章。法律取調事務勲励につき800円を賜る。法律取調委員を免じられる。

大本教・・・1892＝58歳：正三位に叙せられる。

白馬会・・・1896＝62歳：**没した。**